

仕様書

1. 目的

発注者（以下「甲」という）はデジタル式X線一般撮影装置他4件（以下、「物品」という）が常に正常な状態で作動するよう維持すること及びそのために必要な保守業務を円滑に実施することを受注者（以下「乙」という）に委託することを目的とする。

2. 契約期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

但し、本件物品を更新する場合は、本保守契約の終了について甲及び乙で協議を行う。

3. 保守対象装置

（1）デジタル式X線一般撮影装置

富士フィルムメディカル(株)製 DR BENE0 1T2P 1台

（2）FCRシステム

富士フィルムメディカル(株)製 FCR Speedia CS (MC) 1台

（3）FPDシステム

富士フィルムメディカル(株)製 DR CALNEO C 1417 SQ 1台

富士フィルムメディカル(株)製 DR CALNEO C mini Wireless SQ 1台

富士フィルムメディカル(株)製 Smart用FPDバッテリーパック 2台

富士フィルムメディカル(株)製 電源供給ユニット DR CALNEO C (MP) 2台

富士フィルムメディカル(株)製 CALNEO Smart C77 4台

（4）Console Advance

富士フィルムメディカル(株)製 Console Advance 4台

富士フィルムメディカル(株)製 Console Advance (MOBILE)仕様 2台

（5）放射線部門管理支援システム

富士フィルムメディカル(株)製 ASSISTA Management

設置場所：大阪府大阪市中央区大手前3丁目1番69号

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター内

4. 契約時間とサービス業務の範囲

事項に続く

【保守業務時間 仕様書】

本契約業務の対応時間（以下「業務時間帯」という）は、以下の業務時間帯Planのいずれかを契約機器ごとの保守仕様書に定めるものとします。なお、保守仕様書に「Plan」の定めがなく、別途具体的な業務時間帯を定める場合は、その業務時間帯を優先するものとします。

1. 業務時間帯	
Plan S	(1) 乙は、本契約業務を、原則として、土曜日・日曜日・国民の祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を含む乙所定の休日を除く月曜日～金曜日の9時00分～17時40分に行うものとします。 (2) 前項に定める時間外での業務履行に関しては、別途甲乙協議のうえこれを取り決めることとし、当該費用は別途有償とします。
Plan G	(1) 乙は、本契約業務を、原則として、日曜日・国民の祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を含む乙所定の休日を除く月曜日～土曜日の8時00分～20時00分に行うものとします。 (2) 前項に拘らず、オンサイト定期点検の実施については、原則として平日（月曜日～金曜日）の9時00分～17時40分に行うものとします。 (3) 前二項に定める時間外での業務履行に関しては、別途甲乙協議のうえこれを取り決めることとし、当該費用は別途有償とします。
Plan L	(1) 乙は、本契約業務を、原則として、祝日を含む日曜日～土曜日の8時00分～20時00分に行うものとします。 (2) 前項に拘らず、オンサイト定期点検の実施については、原則として、平日（月曜日～金曜日）の9時00分～17時40分に行うものとします。 (3) 前二項に定める時間外での業務履行に関しては、別途甲乙協議のうえこれを取り決めることとし、当該費用は別途有償とします。
Plan 24	(1) 乙は、本契約業務を、原則として、祝日を含む日曜日～土曜日の8時00分～翌8時00分に行うものとします。 (2) 前項に拘らず、オンサイト定期点検の実施については、原則として、平日（月曜日～金曜日）の9時00分～17時40分に行うものとします。 (3) 前二項に定める時間外での業務履行に関しては、別途甲乙協議のうえこれを取り決めることとし、当該費用は別途有償とします。

【BENEO 保守仕様書】

1. 対象契約機器と保守業務

No.	機器名		保証内容	オプション 契約	業務 時間帯	①オンサイト 定期点検	②修理 対応	③リモート サービス	④アンチ ウイルス	⑤モニター キャリブ	⑥FCR QC	⑦Disp QC	⑧オンライン DispQC	⑨FPD キャリブ	⑩精度 管理
	シリアル番号	設置日													
1	BENEO_1T2P 40D59F81C003	2012/03/16	タイプB	-	Plan S	2月8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -

2. 業務内容

(1) 乙は、次の各号のサービスのうち本仕様書1. にて選択されたサービス(以下「本契約業務」という)を実施します。

① オンサイト定期点検

本契約期間中に本仕様書1.に定めた月度に乙の定める仕様に基づいて行うものとします。なお、実施月度は、甲と乙の協議により随時変更できるものとします。

② 修理対応

契約機器に万一不具合が発生した場合、甲の要請により速やかに技術員を派遣して必要な復旧作業を行うものとします。

③ ACTIVE LINEリモートサービス

a. リモートメンテナンスサービス

リモート回線を利用した遠隔操作により、リモート定期点検(12回/年)、予兆監視、操作支援、自動時刻調整を実施します。リモート定期点検、予兆監視により乙が修復作業を必要と判断した場合、遠隔操作により可能な範囲で、修復作業を行ないます。

b. ASSISTA Management放射線部門管理支援サービス

リモート回線により取得した情報により、撮影実績、検査時間、機器稼動実績、カセットDR衝撃状態、撮影条件統計解析、写損実績の分析、統計データを提供します。

c. ACTIVE LINEリモートサービスのサービス内容・条件はASSISTA Managementサービス利用規約によるものとします。

④ アンチウイルスサービス

甲が契約機器とともに乙より導入したアンチウイルスサービスライセンスプログラムのウイルスパターンファイルを、乙のACTIVE LINEサーバーより随時更新します。なお、これは甲の要請の都度行うものではなく、また完全な安全性を保証するものではありません。

⑤ モニターキャリブレーションサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「モニターキャリブレーションライセンスプログラム」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整等サービスを実施します。

⑥ FCR QCサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「FCR QCテストソフトウェア」および「1ショットファントム」を使用して本システムの感度レベルの不変性試験及び調整を実施します。

⑦ Display QCサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「Display不変性試験ソフトウェア」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整を実施します。

⑧ オンラインDisplayQCサービス

契約機器に内蔵の「自動QC機能」により、1回/週、乙所定の仕様に基づくディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験を実施のうえ、上記③に定めるリモートサービス回線により試験結果を確認し、甲に報告します。

⑨ FPDキャリブレーションサービス

FPD画像の一様性を維持するため、①に定める定期点検時に乙所定の仕様に基づき、FPD画像のムラ、点欠陥、線欠陥等を測定し、必要に応じて補正・調整を実施します。

⑩ 精度管理代行サービス

乙は、本仕様書1.に定めた月度に乙所定の仕様に基づき「マンモQCソフトウェア」を使用してデジタルマンモグラフィシステムの総合的な画質特性の不変性試験及び調整等のサービスを実施します。

(2) 乙は、前項の業務の前後に必要であると判断した場合、契約機器の状態確認・説明・操作指導等を行うものとします。

3. 上記業務に必要な部品等の費用負担範囲

契約機器毎に、本仕様書1. に記載された保証内容とし、詳細は5. 保証内容に定める通りとします。

4. 業務時間帯

契約機器毎に、本仕様書1. に記載された業務時間帯とし、詳細は保守業務時間仕様書に定める通りとします。

5. 保証内容	
タイプA	本契約業務の履行にあたり、オンサイト定期点検時に使用する、乙が定めた定期交換部品以外の部品交換の必要が生じた場合、その部品代金は全て甲の負担とします。
タイプB	(1) オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品及び不具合発生時等の修理による交換部品は乙の負担とします。 (2) X線管球を交換する場合の本体代金は甲の負担とします。
タイプB (eX) タイプB (Compact)	(1) 部品単価100,000円(消費税別)以下の部品及びオンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品については、乙の負担とします。 (2) 部品単価100,000円(消費税別)を超える部品(但し、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品を除く。)については、100,000円を超えた金額を甲の負担とします。 (3) X線管球を交換する場合の本体代金は甲の負担とします。
タイプC	(1) オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品及び不具合発生時等の修理による交換部品は乙の負担とします。 (2) X線管球本体を交換する場合の本体代金は半額を甲の負担とします。
タイプC (eX) タイプC (Compact)	(1) オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品及び不具合発生時等の修理による交換部品は乙の負担とします。 (2) X線管球本体を交換する場合の本体代金は甲の負担とします。
タイプD	本契約業務の履行にあたり、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品及び不具合発生時等の修理による交換部品は乙の負担とします。

別表-1 (消耗品リスト)

	名称
1	フィルム
2	記録メディア
3	UPSバッテリー
4	FPDバッテリー
5	モニター(輝度劣化、面欠点、色調変化、濃度均一性等の経時劣化に限る)

【FCRシステム 保守仕様書】

1. 対象契約機器と保守業務

No.	機器名 シリアル番号	設置日	保証内容	オプション 契約	業務 時間帯	①オンサイト 定期点検	②修理 対応	③リモート サービス	④アンチ ウイルス	⑤モニタ キャリブ	⑥FCR QC	⑦Disp QC	⑧オンライン DispQC	⑨FPD キャリブ	⑩精度 管理
1	FCR Speedia CS(MC)		タイプA	-	Plan G	2月8月	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	26250950	2012/03/31													

2. 業務内容

(1) 乙は、次の各号のサービスのうち本仕様書1. にて選択されたサービス(以下「本契約業務」という)を実施します。

① オンサイト定期点検

本契約期間中に本仕様書1.に定めた月度に乙の定める仕様に基づいて行うものとします。なお、実施月度は、甲と乙の協議により随時変更できるものとします。

② 修理対応

契約機器に万一不具合が発生した場合、甲の要請により速やかに技術員を派遣して必要な復旧作業を行うものとします。

③ ACTIVE LINEリモートサービス

a. リモートメンテナンスサービス

リモート回線を利用した遠隔操作により、リモート定期点検(12回/年)、予兆監視、操作支援、自動時刻調整を実施します。リモート定期点検、予兆監視により乙が修復作業を必要と判断した場合、遠隔操作により可能な範囲で、修復作業を行ないます。

b. ASSISTA Management放射線部門管理支援サービス

リモート回線により取得した情報により、撮影実績、検査時間、機器稼動実績、カセットDR衝撃状態、撮影条件統計解析、写損実績の分析、統計データを提供します。

c. ACTIVE LINEリモートサービスのサービス内容・条件はASSISTA Managementサービス利用規約によるものとします。

④ アンチウイルスサービス

甲が契約機器とともに乙より導入したアンチウイルスサービスライセンスプログラムのウイルスパターンファイルを、乙のACTIVE LINEサーバーより随時更新します。なお、これは甲の要請の都度行うものではなく、また完全な安全性を保証するものではありません。

⑤ モニターキャリブレーションサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「モニターキャリブレーションライセンスプログラム」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整等サービスを実施します。

⑥ FCR QCサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「FCR QCテストソフトウェア」および「1ショットファントム」を使用して本システムの感度レベルの不変性試験及び調整を実施します。

⑦ Display QCサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「Display不変性試験ソフトウェア」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整を実施します。

⑧ オンラインDisplayQCサービス

契約機器に内蔵の「自動QC機能」により、1回/週、乙所定の仕様に基づくディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験を実施のうえ、上記③に定めるリモートサービス回線により試験結果を確認し、甲に報告します。

⑨ FPDキャリブレーションサービス

FPD画像の一様性を維持するため、①に定める定期点検時に乙所定の仕様に基づき、FPD画像のムラ、点欠陥、線欠陥等を測定し、必要に応じて補正・調整を実施します。

⑩ 精度管理代行サービス

乙は、本仕様書1.に定めた月度に乙所定の仕様に基づき「マンモQCソフトウェア」を使用してデジタルマンモグラフィシステムの総合的な画質特性の不変性試験及び調整等のサービスを実施します。

(2) 乙は、前項の業務の前後に必要であると判断した場合、契約機器の状態確認・説明・操作指導等を行うものとします。

3. 上記業務に必要な部品等の費用負担範囲

契約機器毎に、本仕様書1. に記載された保証内容とし、詳細は5. 保証内容に定める通りとします。

4. 業務時間帯

契約機器毎に、本仕様書1. に記載された業務時間帯とし、詳細は保守業務時間仕様書に定める通りとします。

5. 保証内容	
タイプRA タイプA	オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品以外の部品交換の必要が生じた場合、その部品代金は全額甲の負担とします。
タイプB	(1) 部品単価100,000円(消費税別)以下の部品及びオンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品については、乙の負担とします。 (2) 部品単価100,000円(消費税別)を超える部品(但し、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品を除く。)については、100,000円を超えた金額を甲の負担とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプC	(1) 部品単価200,000円(消費税別)以下の部品及びオンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品については、乙の負担とします。 (2) 部品単価200,000円(消費税別)を超える部品(但し、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品を除く。)については、200,000円を超えた金額を甲の負担とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD タイプD	本契約業務の履行にあたり、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品及び不具合発生時等の修理による交換部品は、一般条項(本契約の適用除外)項目に定める場合を除き、乙の負担とします。なお、UPS本体を交換する場合のUPS本体の代金は全額甲の負担とします。

別表-1 (消耗品リスト)

	名称
1	フィルム
2	記録メディア
3	UPSバッテリー
4	モニター(輝度劣化、面欠点、色調変化、濃度均一性等の経時劣化に限る)
	ー

【FPDシステム 保守仕様書】

1. 対象契約機器と保守業務

No.	機器名 シリアル番号	設置日	保証内容	過失保証 OP契約	業務 時間帯	①オンサイト 定期点検	②修理 対応	③リモート サービス	④アンチ ウイルス	⑤モニタ キャリブ	⑥FCR QC	⑦Disp QC	⑧オンライン DispQC	⑨FPD キャリブ	⑩精度 管理
1	DR CALNEO C 1417 Wireless SQ(SE X) 26120115	2012/03/31	タイプRD	+1 -	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -
2	DR CALNEO C mini Wireless SQ 56121060	2015/03/05	タイプRD	+1 -	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -
3	Smart用バッテリーパック 2015/03/05		タイプD	- -	Plan G		-	-	-	-	-	-	-	-	- -
4	Smart用バッテリーパック 2015/03/05		タイプD	- -	Plan G		-	-	-	-	-	-	-	-	- -
5	DR CALNEO C(MP) 26121757	2012/03/31	タイプD	- -	Plan G	8月	○	-	-	-	-	-	-	-	- -
6	DR CALNEO C(MP) 47224631	2015/03/05	タイプD	- -	Plan G	8月	○	-	-	-	-	-	-	-	- -
7	CALNEO Smart C77 56220053	2015/03/05	タイプRD	+1 -	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -
8	CALNEO Smart C77 56220052	2015/03/05	タイプRD	+1 -	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -
9	CALNEO Smart C77 66250195	2016/03/07	タイプRD	+1 -	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -
10	CALNEO Smart C77 66250196	2016/03/07	タイプD	+1 -	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	○	- -

2. 業務内容

(1) 乙は、次の各号のサービスのうち本仕様書1. にて選択されたサービス(以下「本契約業務」という)を実施します。

① オンサイト定期点検

本契約期間中に本仕様書1.に定めた月度に乙の定める仕様に基づいて行うものとします。なお、実施月度は、甲と乙の協議により随時変更できるものとします。

② 修理対応

契約機器に万一不具合が発生した場合、甲の要請により速やかに技術員を派遣して必要な復旧作業を行うものとします。

③ ACTIVE LINEリモートサービス

a. リモートメンテナンスサービス

リモート回線を利用した遠隔操作により、リモート定期点検(12回/年)、予兆監視、操作支援、自動時刻調整を実施します。リモート定期点検、予兆監視により乙が修復作業を必要と判断した場合、遠隔操作により可能な範囲で、修復作業を行ないます。

b. ASSISTA Management放射線部門管理支援サービス

リモート回線により取得した情報により、撮影実績、検査時間、機器稼動実績、カセットDR衝撃状態、撮影条件統計解析、写損実績の分析、統計データを提供します。

c. ACTIVE LINEリモートサービスのサービス内容・条件はASSISTA Managementサービス利用規約によるものとします。

④ アンチウイルスサービス

甲が契約機器とともに乙より導入したアンチウイルスサービスライセンスプログラムのウイルスパターンファイルを、乙のACTIVE LINEサーバーより随時更新します。なお、これは甲の要請の都度行うものではなく、また完全な安全性を保証するものではありません。

⑤ モニターキャリブレーションサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「モニターキャリブレーションライセンスプログラム」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整等サービスを実施します。

⑥ FCR QCサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「FCR QCテストソフトウェア」および「1ショットファントム」を使用して本システムの感度レベルの不変性試験及び調整を実施します。

⑦ Display QCサービス

乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「Display不変性試験ソフトウェア」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整を実施します。

⑧ オンラインDisplayQCサービス

契約機器に内蔵の「自動QC機能」により、1回/週、乙所定の仕様に基づくディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験を実施のうえ、上記③に定めるリモートサービス回線により試験結果を確認し、甲に報告します。

⑨ FPDキャリブレーションサービス

FPD画像の一様性を維持するため、①に定める定期点検時に乙所定の仕様に基づき、FPD画像のムラ、点欠陥、線欠陥等を測定し、必要に応じて補正・調整を実施します。

⑩ 精度管理代行サービス

乙は、本仕様書1.に定めた月度に乙所定の仕様に基づき「マンモQCソフトウェア」を使用してデジタルマンモグラフィシステムの総合的な画質特性の不変性試験及び調整等のサービスを実施します。

(2) 乙は、前項の業務の前後に必要であると判断した場合、契約機器の状態確認・説明・操作指導等を行うものとします。

3-1. 上記業務に必要な部品等の費用負担範囲

契約機器毎に、本仕様書1. に記載された保証内容とし、詳細は5. 保証内容に定める通りとします。

3-2. オプション契約	FPDバッテリー交換 2枚／年
---------------------	------------------------

一般条項(本契約の適用除外)の定めに拘らず、別表-1に定める消耗品のうち上記バッテリーについて不具合が発生した場合は、上記に定める交換回数に限り乙の負担で交換します。

4. 業務時間帯

契約機器毎に、本仕様書1. に記載された業務時間帯とし、詳細は保守業務時間仕様書に定める通りとします。

5. 保証内容	
タイプRA タイプA	オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品以外の部品交換の必要が生じた場合、その部品代金は全額甲の負担とします。
タイプRB タイプB タイプRC タイプC	(1) オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品以外の部品交換の必要が生じた場合、その部品代金は全額乙の負担とします。 (2) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD タイプD	(1) 交換部品はすべて乙の負担とします。 (2) ①一般条項(本契約の適用除外)項目の定めに拘わらず、本契約期間内に甲の過失(重過失は除く)により次のいずれかの対象事由が生じかつ異常が発生し、FPD本体を交換する場合のFPD本体代金は、半額を甲の負担とします。 A. パネルに異常が発生し、落下や強い衝撃によりパネル部に著しい変形(全面、局部的変形・湾曲)が生じた場合 B. パネル部に液体(血液、嘔吐物、飲料水など)による汚染の痕跡が認められた場合 C. パネル内蔵センサーのログから、強い衝撃を受けたことが確認された場合 ②前号に定める保証内容の適用は、機器設置日より10年までを限度とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD+1 タイプD+1	(1) 交換部品はすべて乙の負担とします。 (2) ①一般条項(本契約の適用除外)項目の定めに拘わらず、本契約期間内に甲の過失(重過失は除く)により次のいずれかの対象事由が生じかつ異常が発生し、FPD本体を交換する場合のFPD本体代金は、本契約開始から終了までの1年間毎に1回までは全額を乙の負担とし、2回目以降は半額を甲の負担とします。 A. パネルに異常が発生し、落下や強い衝撃によりパネル部に著しい変形(全面、局部的変形・湾曲)が生じた場合 B. パネル部に液体(血液、嘔吐物、飲料水など)による汚染の痕跡が認められた場合 C. パネル内蔵センサーのログから、強い衝撃を受けたことが確認された場合 ②前号に定める保証内容の適用は、機器設置日より10年までを限度とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD+3 タイプD+3	(1) 交換部品はすべて乙の負担とします。 (2) ①一般条項(本契約の適用除外)項目の定めに拘わらず、本契約期間内に甲の過失(重過失は除く)により次のいずれかの対象事由が生じかつ異常が発生し、FPD本体を交換する場合のFPD本体代金は、本契約開始から終了までの1年間毎に3回までは全額を乙の負担とし、4回目以降は半額を甲の負担とします。 A. パネルに異常が発生し、落下や強い衝撃によりパネル部に著しい変形(全面、局部的変形・湾曲)が生じた場合 B. パネル部に液体(血液、嘔吐物、飲料水など)による汚染の痕跡が認められた場合 C. パネル内蔵センサーのログから、強い衝撃を受けたことが確認された場合 ②前号に定める保証内容の適用は、機器設置日より10年までを限度とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD+2f タイプD+2f	(1) 交換部品はすべて乙の負担とします。 (2) ①一般条項(本契約の適用除外)項目の定めに拘わらず、本契約期間内に甲の過失(重過失は除く)により次のいずれかの対象事由が生じかつ異常が発生し、FPD本体を交換する場合のFPD本体代金は、本契約開始から終了までの1年間毎に当該特約対象機器全てについての交換合計2回までを全額乙の負担とし、3回目700,000円、4回目以降1,500,000円をそれぞれ甲の負担とします。 A. パネルに異常が発生し、落下や強い衝撃によりパネル部に著しい変形(全面、局部的変形・湾曲)が生じた場合 B. パネル部に液体(血液、嘔吐物、飲料水など)による汚染の痕跡が認められた場合 C. パネル内蔵センサーのログから、強い衝撃を受けたことが確認された場合 ②前号に定める保証内容の適用は、機器設置日より10年までを限度とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD+1f タイプD+1f	(1) 交換部品はすべて乙の負担とします。 (2) ①一般条項(本契約の適用除外)項目の定めに拘わらず、本契約期間内に甲の過失(重過失は除く)により次のいずれかの対象事由が生じかつ異常が発生し、FPD本体を交換する場合のFPD本体代金は、本契約開始から終了までの1年間毎に当該特約対象機器全てについての交換合計1回までを全額乙の負担とし、2回目700,000円、3回目以降1,500,000円をそれぞれ甲の負担とします。 A. パネルに異常が発生し、落下や強い衝撃によりパネル部に著しい変形(全面、局部的変形・湾曲)が生じた場合 B. パネル部に液体(血液、嘔吐物、飲料水など)による汚染の痕跡が認められた場合 C. パネル内蔵センサーのログから、強い衝撃を受けたことが確認された場合 ②前号に定める保証内容の適用は、機器設置日より10年までを限度とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。

別表-1(消耗品リスト)

	名称
1	フィルム
2	記録メディア
3	FPDバッテリー
4	モニター(輝度劣化、面欠点、色調変化、濃度均一性等の経時間劣化に限る)
	—

【Console Advance 保守仕様書】

1. 対象契約機器と保守業務

No.	機器名 シリアル番号	設置日	保証内容	オプション 契約	業務 時間帯	①オンサイト 定期点検	②修理 対応	③リモート サービス	④アンチ ウイルス	⑤モニタ キャリブ	⑥FCR QC	⑦Disp QC	⑧オンライン DispQC	⑨FPD キャリブ	⑩精度 管理
1	Console Advance		タイプA	-	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	26121823	2012/03/16		-											-
2	Console Advance		タイプA	-	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	06944042	2020/12/11		-											-
3	Console Advance		タイプA	-	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	26121824	2012/03/16		-											-
4	Console Advance		タイプA	-	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	26121825	2012/03/16		-											-
5	Console Advance(MOBILE)		タイプA	-	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	17146976	2021/05/24		-											-
6	Console Advance(MOBILE)		タイプA	-	Plan G	8月	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	16345387	2022/03/10		-											-

2. 業務内容

(1) 乙は、次の各号のサービスのうち本仕様書1. にて選択されたサービス(以下「本契約業務」という)を実施します。

- ① オンサイト定期点検
本契約期間中に本仕様書1.に定めた月度に乙の定める仕様に基づいて行うものとします。なお、実施月度は、甲と乙の協議により随時変更できるものとします。
 - ② 修理対応
契約機器に万が一不具合が発生した場合、甲の要請により速やかに技術員を派遣して必要な復旧作業を行うものとします。
 - ③ ACTIVE LINEリモートサービス
 - a. リモートメンテナンスサービス
リモート回線を利用した遠隔操作により、リモート定期点検(12回/年)、予兆監視、操作支援、自動時刻調整を実施します。リモート定期点検、予兆監視により乙が修復作業を必要と判断した場合、遠隔操作により可能な範囲で、修復作業を行ないます。
 - b. ASSISTA Management放射線部門管理支援サービス
リモート回線により取得した情報により、撮影実績、検査時間、機器稼働実績、カセットDR衝撃状態、撮影条件統計解析、写損実績の分析、統計データを提供します。
 - c. ACTIVE LINEリモートサービスのサービス内容・条件はASSISTA Managementサービス利用規約によるものとします。
 - ④ アンチウイルスサービス
甲が契約機器とともに乙より導入したアンチウイルスサービスライセンスプログラムのウイルスパターンファイルを、乙のACTIVE LINEサーバーより随時更新します。なお、これは甲の要請の都度行うものではなく、また完全な安全性を保証するものではありません。
 - ⑤ モニターキャリブレーションサービス
乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「モニターキャリブレーションライセンスプログラム」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整等サービスを実施します。
 - ⑥ FCR QCサービス
乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「FCR QCテストソフトウェア」および「1ショットファントム」を使用して本システムの感度レベルの不変性試験及び調整を実施します。
 - ⑦ Display QCサービス
乙は①に定めるオンサイト定期点検時に、乙所定の仕様に基づき「Display不変性試験ソフトウェア」を使用してディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験及び調整を実施します。
 - ⑧ オンラインDisplayQCサービス
契約機器に内蔵の「自動QC機能」により、1回/週、乙所定の仕様に基づくディスプレイの輝度特性及びパターン画像による画質特性の不変性試験を実施し2回/週、上記③に定めるリモートサービス回線により試験結果を確認し、甲に報告します。
 - ⑨ FPDキャリブレーションサービス
FPD画像の一様性を維持するため、①に定める定期点検時に乙所定の仕様に基づき、FPD画像のムラ、点欠陥、線欠陥等を測定し、必要に応じて補正・調整を実施します。
 - ⑩ 精度管理代行サービス
乙は、本仕様書1.に定めた月度に乙所定の仕様に基づき「マンモQCソフトウェア」を使用してデジタルマンモグラフィシステムの総合的な画質特性の不変性試験及び調整等のサービスを実施します。
- (2) 乙は、前項の業務の前後に必要であると判断した場合、契約機器の状態確認・説明・操作指導等を行うものとします。

3-1. 上記業務に必要な部品等の費用負担範囲

契約機器毎に、本仕様書1.に記載された保証内容とし、詳細は5. 保証内容に定める通りとします。

4. 業務時間帯

契約機器毎に、本仕様書1.に記載された業務時間帯とし、詳細は保守業務時間仕様書に定める通りとします。

5. 保証内容	
タイプRA タイプA	オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品以外の部品交換の必要が生じた場合、その部品代金は全額甲の負担とします。
タイプRB タイプB	(1) 部品単価100,000円(消費税別)以下の部品及びオンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品については、乙の負担とします。 (2) 部品単価100,000円(消費税別)を超える部品(但し、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品を除く。)については、100,000円を超えた金額を甲の負担とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRC タイプC	(1) 部品単価200,000円(消費税別)以下の部品及びオンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品については、乙の負担とします。 (2) 部品単価200,000円(消費税別)を超える部品(但し、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品を除く。)については、200,000円を超えた金額を甲の負担とします。 (3) UPS本体を交換する場合のUPS本体代金は全額甲の負担とします。
タイプRD タイプD	本契約業務の履行にあたり、オンサイト定期点検時に使用する乙が定めた定期交換部品及び不具合発生時等の修理による交換部品は、一般条項(本契約の適用除外)項目に定める場合を除き、乙の負担とします。なお、UPS本体を交換する場合のUPS本体の代金は全額甲の負担とします。

別表-1 (消耗品リスト)

	名称
1	フィルム
2	記録メディア
3	UPSバッテリー
4	モニター(輝度劣化、面欠点、色調変化、濃度均一性等の経時間劣化に限る)
5	ノートPCバッテリー

【ASSISTA Management 仕様書】

1. 業務内容

乙は、次の①～⑤のオプションサービスのうち以下にて選択された機能を提供します。

① 写損カンファレンス 各端末の写損情報の一元管理と適正画像比較	✓
② 患者待ち時間分析 撮影室毎、時間帯毎の患者待ち時間統計分析	—
③ トレンドレポート 施設全体の一般/マンモ撮影のトレンドをまとめたレポートを月次で生成、PDFでダウンロード、閲覧	✓
④ 院内PC閲覧 ゲートウェイPC及び甲保有の院内PC端末計5台までの同時ログイン、閲覧	✓
⑤ 分析結果出力 各種データ分析結果の出力	✓

2. その他

ASSISTA Managementオプション契約のサービス内容・条件はASSISTA Managementサービス利用規約による。

【一般条項】

(本契約の適用除外)

1. 次のいずれかに該当するものは、本契約の対象外とします。但し、甲が要請し乙が可能と判断したものは、発生の都度、甲乙協議のうえ別途有償にて実施するものとします。
 - (1) 甲のまたは第三者の責に帰すべき事由に起因する故障の修復
 - (2) 契約機器の仕様変更
 - (3) 契約機器のオーバーホール及び設置場所の変更作業
 - (4) 火災、風水害、地震、落雷等の天災地変その他不可抗力に起因する故障の修復
 - (5) 乙所定の取扱説明書に記載の注意事項、設置条件・電源条件等を含む環境条件、取扱方法を逸脱した使用に起因する故障の修復
 - (6) 契約機器外から物理的、電氣的ストレスを加えられたことに起因する故障の修復
 - (7) 乙指定以外の保守部品、消耗品及び接続機器の使用に起因する故障の修復
 - (8) 乙または乙指定の者以外による仕様変更、修理及び移動に起因する故障の修復
 - (9) マルウェア感染やサイバー攻撃などのセキュリティインシデントが発生した場合の修復作業やログ解析、調査
 - (10) 契約機器へ接続されているシステムまたは装置の仕様変更に伴う契約機器のプログラムソフト変更
 - (11) 契約機器に接続されるシステムの仕様変更に伴う変更
 - (12) 乙提供外のネットワーク関連機器、ネットワークケーブルの保守業務
 - (13) 基本ソフトウェアへ、ベンダが提供する修正ソフトウェアまたは追加ソフトウェアを適用する作業
 - (14) 保守仕様書別表-1に記載の消耗品の提供または交換
2. 前項に係らず、保守仕様書毎に、別途適用除外項目を定める場合は、保守仕様書を優先するものとします。

5. 報告書の提出と検査

受注者は、4の保守業務の完了後、速やかに報告書を発注者に提出するものとする。

また、契約期間中に保守費用の効果検証及び契約終了後の保守の必要性等を含む分析評価を行うものとする。

6. 確認書の提出

受注者は、契約締結にあたり部品供給を行う装置メーカーとの間で、当仕様書の内容を記載した確認書を交わし発注者に提出するものとする。

7. 損害賠償

(1) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により発注者の建物、設備等を滅失または毀損した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。

(2) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により保守対象外の発注者の装置、データ、プログラム等を損傷または滅失した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。

(3) 受注者の責に帰すべき事由により、4の保守業務の一部または全部を行うことが出来ず、発注者に損害が生じた場合には、発注者は損害金の支払いを受注者に請求することができる。

8. 個人情報の保護

受注者及び本件業務に従事している者または従事していた者は、業務上知り得た個人情報を第三者に漏らし、又は、他の目的に利用してはならない。

9. セキュリティ

メンテナンス時にファームウェアのアップデートが可能な場合は行い、医療情報部へ詳細情報を報告すること。